

- 53 見えないもので、「コミュニケーションしよう。」
- 54 相手が想像しているものを、受取ろう。
- 55 「魚料理ならありますが」ではなく、  
「魚料理をご用意させていただきます」と言おう。
- 56 いい質問をした人の名前を聞こう。
- 57 何かしながら、話そう。
- 58 論理と感覚のどちらも味わおう。
- 59 感性こそ、ロジックで伝えよう。
- 60 話芸の達人に、学ぼう。

## 一流の話し方

もくじ

はじめに

01 「言葉」「イコール」「気持ち」とは、限らない。…………… 5

### 第1章

## 一流は、相手に関心のある話で心を開かせる。

02 「今日は、ぶちまけておきます」と言うことで、許される。…………… 20

03 「どこ行くん、何しに行くん」と相手に関心を持つことが会話の基本だ。…………… 24

04 書かれている情報より、ナマの人からの情報を信じる。…………… 28

05 聞き手は、自分に関係がある話を聞く。…………… 30

06 商品説明を、先にしない。…………… 32

07 池上彰さんは、自問自答の達人だ。…………… 34

08 パワーポイントのトラブルの間も、話し続ける。…………… 37

## 第2章

### 一流は、聞き手の表情から読み取る。

- 09 下ネタは、流れを変えよう。……………40
- 10 話し手でも聞き手でもない時に、差がつく。……………42
- 11 メモすることよりも、話に集中しよう。……………44
- 12 その場の一体感から、こぼれない。……………48
- 13 聞き手が黙った時、まくしたてない。……………52
- 14 長所ばかり話しても、説得力は出ない。……………56
- 15 「エライ目にあつたよ」と言う時は、話したがつている。……………59
- 16 同じ話を何度でも聞いてくれる人が、かわいがられる。……………61
- 17 会話の中心に、いきなり入らない。……………65
- 18 知り合いがいない時は、主催者に挨拶する。……………68
- 19 スタッフを紹介しよう。……………72
- 20 一流ホテルに行くより、そのホテルのスタッフに話しに行こう。……………75

## 第3章

### 一流は、価値観が違う相手も説得できる。

- 21 一流は、聞き手が離れていく時は、声をかけない。……………77
- 22 心の声とキャッチボールしよう。……………81
- 23 「変わらないですね」より、「変わりましたね」が、うれしい。……………84
- 24 いいネタは、「そつえば」で思い出したネタ。……………87
- 25 情報よりも、人生を感じる話が面白い。……………90
- 26 価値観が同じ会話ばかりしていると、価値観が違う対話ができなくなる。……………94
- 27 話が合わないのではない。相手の価値観がわからないのだ。……………98
- 28 反論はいい。バカにするのは、よくない。……………100
- 29 「違う」と言われると、話したくなくなる。……………104
- 30 「違う」より「惜しい」と言つ。……………107
- 31 「なるほど、面白い」は、心をつなげる接続詞だ。……………112
- 32 相手がふつてきた話題を、けなさない。……………115

第4章

一流は、最初と最後に集中するから巻き込める。

- 40 面白いのは、ファニーではなく、インタレスティングだ。……………139
- 39 予約が間違っていた時は、「すいません。私が、言い間違えました」。……………136
- 38 肺活量が多いと、滑舌がよくなる。……………134
- 37 明るい声でかけた電話予約は、とれる。……………130
- 36 笑顔のある人が、聞いてもらえる。……………126
- 35 遠慮しない、譲らない。……………122
- 34 謙遜のつもりが、失礼になることもある。……………120
- 33 「興味ない」で、話は終わる。……………118
- 41 会話とは、集中力だ。……………142
- 42 「私はやりたくなかった」より「共犯者です」で、好感度が上がる。……………146
- 43 マラリアの怖さを、蚊のアクリルボックスを、あけることで伝える。……………149
- 44 2つ以上のモードを持つ。……………154

第5章

一流は、感性こそロジックで伝える。

- 45 キャバクラでも、一瞬、大切な話が出る瞬間がある。……………160
- 46 大切なことは、雑談の形で語られる。……………162
- 47 「聞き流していい」と言われると、ちゃんと聞きたくなくなる。……………166
- 48 雑談は、コンピュータがかなわない究極の知性だ。……………168
- 49 話し方が上手な人は、遺伝ではなく、勉強したからだ。……………172
- 50 うまい人の話を文字起こしすると、話し方のコツがわかる。……………174
- 51 句点では、息継ぎをしない。……………177
- 52 流暢でないほうが伝わる。……………180
- 53 一流は見えないものを共有し、二流は見えないものを否定する。……………183
- 54 見えないものは、心に焼きつく。……………186
- 55 聞き手を、被害者にしない。……………189
- 56 名前を聞かれるのは、聞き手の名譽だ。……………192

一流は、  
**相手が関心のある話**  
で心を開かせる。

第 1 章

57	ごはんを食べながら話すと、話しやすい。……………	197
58	結論がうしろに来るところに、日本語の味わいがある。……………	200
59	感情は、論理で伝わる。……………	203
	おわりに……………	
60	話し方の達人に、出逢おう。……………	206